

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	課題研究	単位数	2	学年・学科	3学年・環境科学科
教科書	副教材						

学習目標	○森林・林業または生物工学の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通じて、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。
学習方法	○学校農業クラブ活動を通して、問題解決能力や自発的、創造的な学習態度を身に付けます。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け							
			100%	0%	100%					
a	知識・技能 (専門教科は知識・技術)	森林・林業または生物工学の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身につけることができる。	前期中間	知識・技能(技術)	40%	0%	40%			
			中期	思考・判断・表現	30%	0%	30%			
				主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%			
						100%	0%	100%		
			b	思考・判断・表現	森林・林業または生物工学に関する課題を発見し、農業関連産業に携わるものとして解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	前期末	知識・技能(技術)	40%	0%	40%
						後期末	思考・判断・表現	30%	0%	30%
主体的に学習に取り組む態度	30%	0%					30%			
			100%	0%	100%					
c	主体的に学習に取り組む態度	課題を解決する力を目指して自ら学び、森林・林業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むことができる	後期中間	知識・技能(技術)	40%	0%	40%			
			後期末	思考・判断・表現	30%	0%	30%			
				主体的に学習に取り組む態度	30%	0%	30%			
			100%	0%	100%					

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	○専攻別学習	・研究班の専攻実習を行います。 ①「生物資源研究班」 ②「森林環境研究班」	○	○	○	a: 動植物の生育特性に関する知識を身につけるとともに、それらの生物を環境保全に有効に活用する知識を身につけている。 b: 自然環境の保全に関する思考を深め、生物の生育過程や実験結果から分析できる判断力があり、地域社会にその成果を表現することができる。 c: 植物・環境・森林に関する各分野に興味関心を持ち、地域の課題を解決しようとする態度が身につけている。	・実習記録 ・実習態度
前期末	○専攻別学習	・研究班の専攻実習を行います。 ①「生物資源研究班」 ②「森林環境研究班」	○	○	○	a: 動植物の生育特性に関する知識を身につけるとともに、それらの生物を環境保全に有効に活用する知識を身につけている。 b: 自然環境の保全に関する思考を深め、生物の生育過程や実験結果から分析できる判断力があり、地域社会にその成果を表現することができる。 c: 植物・環境・森林に関する各分野に興味関心を持ち、地域の課題を解決しようとする態度が身につけている。	・実習記録 ・実習態度
後期中間	○専攻別学習	・研究班の専攻実習を行います。 ①「生物資源研究班」 ②「森林環境研究班」	○	○	○	a: 動植物の生育特性に関する知識を身につけるとともに、それらの生物を環境保全に有効に活用する知識を身につけている。 b: 自然環境の保全に関する思考を深め、生物の生育過程や実験結果から分析できる判断力があり、地域社会にその成果を表現することができる。 c: 植物・環境・森林に関する各分野に興味関心を持ち、地域の課題を解決しようとする態度が身につけている。	・実習記録 ・実習態度
後期末	○卒業制作(木材加工)	・卒業制作として木材加工に取り組みます。	○	○	○	a: 木材加工に関する知識と技術を身につけている。 b: 木材加工の基本を守りつつもデザイン等を工夫するなど自分の作品として表現することができる。 c: 木材加工に興味関心を持ち、主体的に取り組む態度が身につけている。	・実習記録 ・実習態度